

	<p>・英語導入に至った歴史的背景について予習した内容をディスカッションを通して理解を深める。</p>
第 3 回	<p>ウォームアップ：英語の歌を担当者が導入し皆で歌う。</p> <p>テーマ： 小学校学習指導要領①ー外国語活動（中学年）</p> <p>・小学校の外国語活動の目標、内容、指導計画と内容の取扱い等について予習してきた内容をもとにディスカッションを通して理解を深める。</p>
第 4 回	<p>ウォームアップ：英語の歌を担当者が導入し皆で歌う。</p> <p>テーマ： 小学校学習指導要領②ー外国語科（高学年）</p> <p>・小学校外国語科の目標、内容、指導計画と内容の取扱い等について予習してきた内容をもとにディスカッションを通して理解を深める。</p>
第 5 回	<p>ウォームアップ：英語の歌を担当者が導入し皆で歌う。</p> <p>テーマ：言語習得</p> <p>・第一言語習得と第二言語習得について予習した内容をもとにディスカッションを通して理解を深める。</p>
第 6 回	<p>ウォームアップ：英語の歌を担当者が導入し皆で歌う。</p> <p>テーマ：教科書精査 1（外国語活動）</p> <p>・小学校外国語活動の教科書を分析し、3，4 年生の教育内容について理解を深める。</p>
第 7 回	<p>ウォームアップ：英語の歌を担当者が導入し皆で歌う。</p> <p>テーマ：教科書精査 2（外国語科）</p> <p>・小学校外国語科の教科書を分析し、5，6 年生の教育内容について理解を深める。</p>
第 8 回	<p>ウォームアップ：英語の歌を担当者が導入し皆で歌う。</p> <p>テーマ： デジタル教科書（外国語科）</p> <p>・デジタル教科書を用いて単元の流れを理解する。</p>
第 9 回	<p>ウォームアップ：英語の歌を担当者が導入し皆で歌う。</p> <p>テーマ： 国際理解教育と英語教育</p> <p>・英語教育における国際理解教育の在り方と児童期にふさわしい国際理解教育についてディスカッションを通して考察する。</p>
第 10 回	<p>ウォームアップ：英語の歌を担当者が導入し皆で歌う。</p> <p>テーマ：フォニックス</p> <p>・児童期の英語教育における音声指導の重要性を解説し、フォニックスを用いて指導者の自己発音を確認すると共に指導法を理解する。</p>
第 11 回	<p>ウォームアップ：英語の歌を担当者が導入し皆で歌う。</p> <p>テーマ：指導者に望まれる資質</p> <p>・児童期の英語教育を担当する指導者に求められる知識と技能についてディスカッションを通して考える。</p>
第 12 回	<p>ウォームアップ：英語の歌を担当者が導入し皆で歌う。</p> <p>テーマ：Classroom English</p> <p>・Classroom English を使用することの意義を理解し、指示が出せるように練習する。</p>

第 13 回	<p>ウォームアップ：英語の歌を担当者が導入し皆で歌う。</p> <p>テーマ：さまざまな英語教授法と指導技術 1</p> <p>・英語教育のさまざまな教授法と児童期に適した指導法について考える。</p>
第 14 回	<p>ウォームアップ：英語の歌を担当者が導入し皆で歌う。</p> <p>テーマ：言語活動</p> <p>・定着のための練習と言語活動、Small talk の違いを理解し、言語活動を計画する。</p>
第 15 回	<p>ウォームアップ：英語の歌を担当者が導入し皆で歌う。</p> <p>テーマ：授業動画研究</p> <p>・実際の授業動画を視聴し、授業で学習したことを振り返る。</p>
テキスト	<p>吉田研作監修 小川隆夫・東仁美著『小学校英語 はじめる教科書 改訂 3 版』（株）mpi 松香 フォニックス 2024 年</p> <p>予習・復習に使用する。</p>
参考図書・ 教材／デー タベース・ 雑誌等の紹 介	<p>『小学校学習指導要領解説外国語活動・外国語編』（平成 29 年）（文部科学省）</p> <p>『中学校学習指導要領解説外国語編』（平成 29 年）（文部科学省）</p> <p>『高等学校学習指導要領解説外国語編』（平成 30 年）（文部科学省）</p>
課題に対す るフィード バックの方 法	<p>・レポート課題・授業フィードバックにコメントを付けて返却する。</p> <p>・発表課題については、口頭コメントとフィードバックへの記入、クラスメートからのコメントによる学び合いを行う。</p>
学生へのメ ッセージ・ コメント	<p>・授業には予習をして参加してください。予習してきた内容をもとにディスカッションをしていきます。</p> <p>・小学校では音声指導が中心となり表現を定着させていきます。歌やチャンツを使うことが多いので毎回ウォームアップは歌かチャンツでスタートします。歌をリードする担当者はローテーションします。皆で楽しく効果的に進めていきたいと思います。</p> <p>・All English で指示が出せるよう、日常的に簡単な英語を使うようにしてください。</p>

